



2010年3月期 決算説明資料

 株式会社 だいこう証券ビジネス
Daiko Clearing Services Corporation



www.daiko-sb.co.jp



2010年3月期 業績概要

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	前期比	増減率
営業収益	19,271	13,539	△ 5,731	△ 29.7%
営業費用	7,376	5,883	△ 1,493	△ 20.2%
一般管理費	10,183	8,595	△ 1,588	△ 15.6%
営業利益	1,710	△ 938	△ 2,649	-
経常利益	1,869	△ 844	△ 2,713	-
当期純利益	△ 1,389	△ 5,957	△ 4,567	-

営業収益の内訳

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	前期比	増減率
事務代行手数料	7,400	4,329	△ 3,071	△ 41.5%
ビジネスサービス手数料	2,187	1,709	△ 477	△ 21.8%
証券業手数料	1,301	1,188	△ 112	△ 8.7%
メーリング手数料	1,302	1,239	△ 62	△ 4.8%
配送手数料	1,438	1,260	△ 178	△ 12.4%
株主名簿管理人手数料	2,213	1,386	△ 827	△ 37.4%
人材サービス手数料	1,913	1,387	△ 525	△ 27.5%
その他の手数料	401	239	△ 162	△ 40.5%
金融収益	1,112	798	△ 313	△ 28.2%
合計	19,271	13,539	△ 5,731	△ 29.7%

※ 前連結会計年度まで、営業収益については株主名簿管理人手数料、書換手数料、配送手数料、管理手数料、情報処理手数料、メーリング手数料、その他の受取手数料および金融収益に区分していましたが、本年1月の株券電子化に伴う見直しにより、当第1四半期連結会計期間より、上記に表示区分を変更しております。なお、比較を容易にするため、上記の表では前期に当期の区分を適用した場合の数字を記載しております。

営業費用・一般管理費の内訳

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	前期比	増減率
営業費用	7,376	5,883	△ 1,493	△ 20.2%
支払手数料	6,763	5,591	△ 1,171	△ 17.3%
金融費用	613	291	△ 321	△ 52.5%
一般管理費	10,183	8,595	△ 1,588	△ 15.6%
人件費	6,142	5,059	△ 1,082	△ 17.6%
物件費（減価償却費除く）	3,186	2,400	△ 786	△ 24.7%
減価償却費	854	1,135	280	32.8%
合計	17,560	14,478	△ 3,081	△ 17.5%

特別損失の内訳

(単位:百万円)

	2010年3月期
固定資産の減損損失	2,672
システム資産・その他固定資産の除却等	709
希望退職関連	958
移転費用関連	165
投資有価証券関連	232
金融商品責任準備金	138
計	4,877

固定資産の減損損失内訳
◆事業用資産
(ソフトウェア、建物等)
2,584百万円
◆処分予定資産
(土地、建物等)
87百万円

貸借対照表

(単位:億円)

	2009年 3月期	2010年3月期	前期比
流動資産	577	362	△ 214
現金及び預金	146	96	△ 50
預託金	16	6	△ 10
信用取引資産	200	117	△ 83
短期差入保証金	99	31	△ 68
固定資産	95	68	△ 27
合計	672	431	△ 241

	2009年 3月期	2010年3月期	前期比
流動負債	338	156	△ 181
信用取引負債	168	79	△ 89
短期受入保証金	128	39	△ 88
固定負債等	19	18	
負債合計	357	175	△ 182
純資産	315	255	△ 59
合計	672	431	△ 241

※ 固定負債等には金融商品取引責任準備金を含んでおります。

「基本戦略」および「アクション・プラン」について

基本戦略

当社グループは、中長期的な企業価値を向上させるとともに、「証券業務の総合的プラットフォーム」として証券・金融界に欠く事のできないインフラストラクチャーとしての役割を果たし続けていくために、
①サービスの高品質化、②業務体制の効率化、③全社的な経費削減を継続的に実施してまいります。

アクション・プラン

	2010年3月期 「構造改革期」	2011年3月期 「収益基盤確立期」	2012年3月期 「収益基盤拡大期」
	営業利益赤字脱却の施策実施	営業利益黒字化	営業利益の拡大
サービスの 高品質化	<ul style="list-style-type: none">・業務企画室の立ち上げ・営業推進部の強化・充実・開発済新業務のサービスイン・新サービスメニューの開発・人材のスキル向上策実施	<ul style="list-style-type: none">・Dream-S&Sの拡大・新サービスの開始・企画・研修系サービスの開発・スキル獲得目的の人事交流・人材育成計画・新人事評価体系導入	<ul style="list-style-type: none">・Dream-S&Sの拡大、既存取引の深耕・新サービスの拡大・M&Aによる不連続成長の検討・企画・研修系サービスの拡大
業務体制の 効率化	<ul style="list-style-type: none">・業務の標準化着手・業務フローの見直し・組織再編・だいこうエンタープライズ統合	<ul style="list-style-type: none">・業務標準化定着・海外BPO開始	<ul style="list-style-type: none">・人的業務のIT化等の業務進化・海外BPO拡大・効率的グループ体制の構築検討
全社的な 経費削減	<ul style="list-style-type: none">・不採算業務の見直し・総額人件費の削減・システム関連コストの削減・システム資産・固定資産の除却・事務所コストの削減	<ul style="list-style-type: none">・印刷システム・ ダウンサイジング完了	

2011年3月期 業績予想

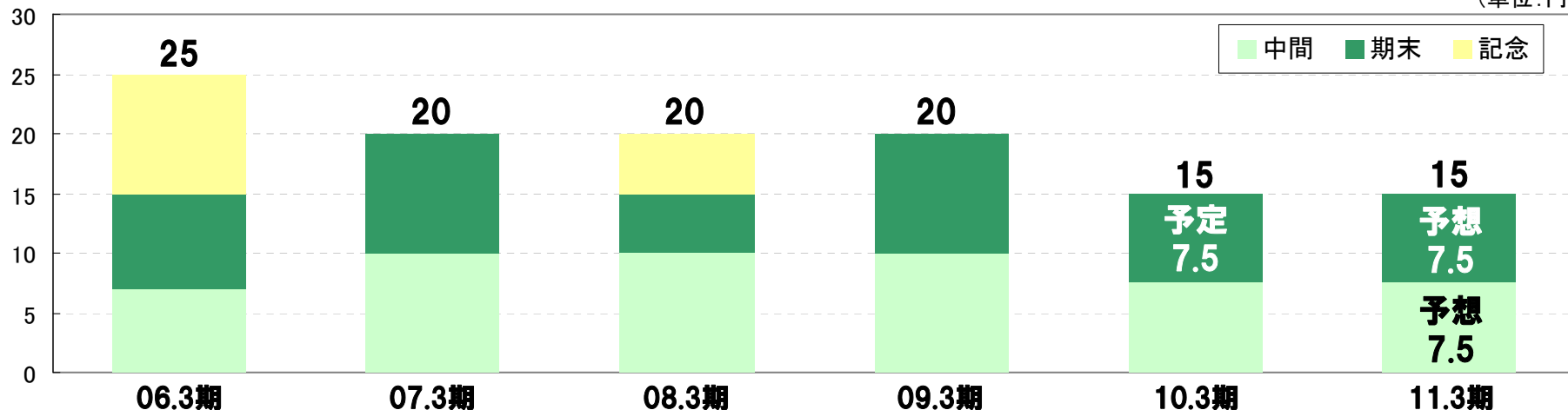
(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期			
		中間	通期	前期比	増減率
営業収益	13,539	6,500	13,500	△ 39	△ 0.3%
営業利益	△ 938	200	700	1,638	-
経常利益	△ 844	200	800	1,644	-
当期純利益	△ 5,957	0	300	6,257	-

配当金推移・株主数推移

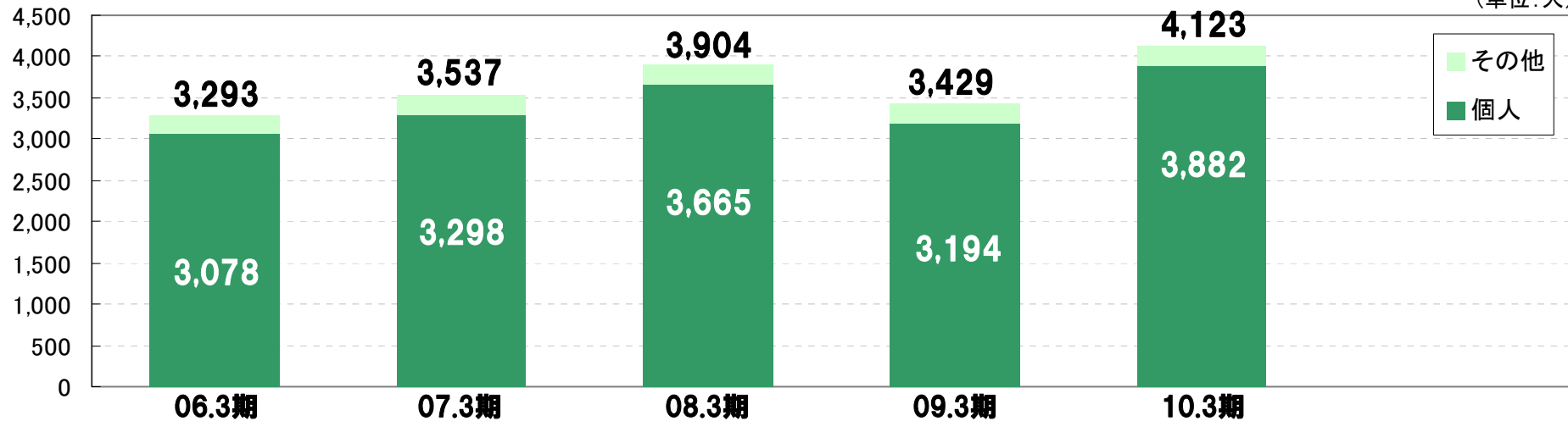
◆配当金推移

(単位:円)



◆株主数推移

(単位:人)



自己資本規制比率

(単位:百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	
			前期比
基本的項目 (A)	29,696	23,379	△ 6,316
その他有価証券評価差額金(評価益)等	182	559	376
金融商品取引責任準備金等	536	675	138
一般貸倒引当金	11	44	32
補完的項目合計 (B)	730	1,278	548
控除資産 (C)	6,629	3,331	△ 3,297
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (D)	23,797	21,326	△ 2,470
市場リスク相当額	446	537	90
取引先リスク相当額	939	542	△ 397
基礎的リスク相当額	2,558	2,504	△ 53
リスク相当額合計 (E)	3,945	3,584	△ 360
自己資本規制比率 (D) / (E)	603.2%	595.0%	△ 8.2%

本資料は情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。

当社の概要

商号等	株式会社だいこう証券ビジネス 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第18号
所在地	本社 〒541-8583 大阪市中央区北浜2-4-6 東京本部 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町13-1
加入協会	日本証券業協会
資本金	89億2百万円（2010年3月31日現在）
主な事業	金融商品取引業、証券事務代行業、貸金業、株主名簿管理人
設立年月	昭和32年5月
連絡先	企画総務部（03-3666-9378）